

大野市文化財保存活用地域計画

【前期計画期間総括】

令和8年2月 作成

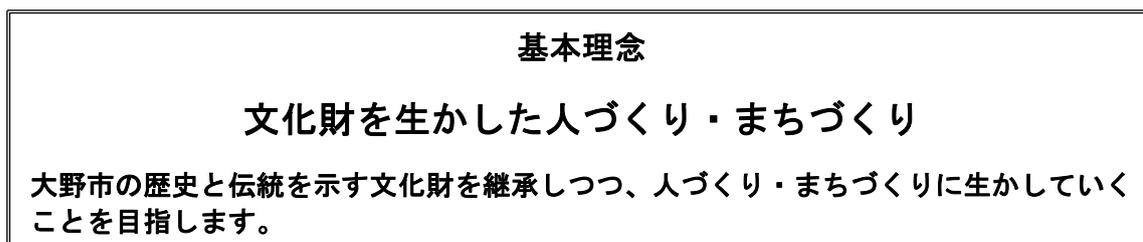
福井県大野市

目次

1 大野市文化財保存活用地域計画とは.....	1
2 大野市文化財保存活用地域計画 前期計画期間の実績.....	2
(1) 実績の総括内容.....	2
(2) 調査研究・保存・活用の方針とその実績.....	3
(3) 関連文化財群の保存・活用に関する措置とその実績.....	12

1 大野市文化財保存活用地域計画とは

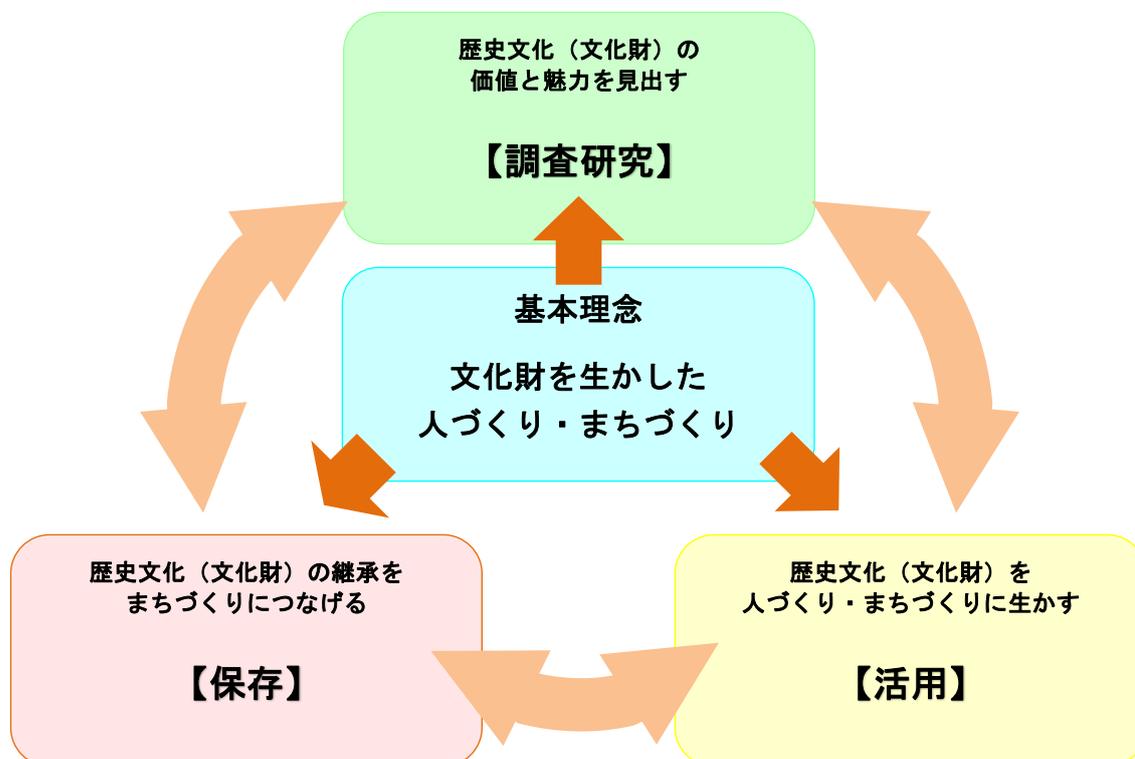
- 文化庁の定める「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定に関する指針」（令和3年（2021）6月）に基づいた、大野市の文化財に関する保存・活用のマスタープラン及びアクションプラン。
- 大野市内に所在する多種多様な文化財を幅広く捉え、周辺環境まで含めた文化財の一体的な保存・活用の取り組みの方向性を明確化し、行政と市民が協働で文化財の保存・継承と整備活用を進め、歴史文化を生かしたまちづくりを推進する基本方針及び措置（具体的な事業や事業主体、事業スケジュールなど）を示す。



基本理念「文化財を生かした人づくり・まちづくり」を、3つの方向性に展開。

- ・文化財の価値を明らかにし、その魅力を「市民の共有財産」に磨き上げる【調査研究】
- ・文化財の魅力を後世に継続させるとともに、継承への取り組みによって地域の結束を促す【保存】
- ・文化財を通じた人材育成に取り組み、積極的にまちづくりに利活用する【活用】

【基本理念展開の概念図】



○指定・未指定を含む有形・無形の多種多様な文化財を、歴史文化の特徴に基づく関連性（ストーリー）に沿って、一定のまとまりで捉えたものを関連文化財群とし、関連文化財群ごとに保存・活用に関する措置を示す。

■■ 関連文化財群の考え方 ■■	
① 関連文化財群のテーマ：	歴史文化の特徴から、大野市を表す特筆すべきものであること。
② 主な構成文化財：	関連文化財群のテーマやストーリーを説明する文化財
※「関連文化財群のテーマ」や「主な構成文化財」に取り上げられない時代や文化財も保存・活用の対象となります。	

歴史文化の特徴		関連文化財群のテーマ
①	人と地域がつなぐ 「交流の文化」	<1> 原始・古代の人々の営み
		<2> 町や村に暮らす人々の交流
		<3> 華開く「進取の気象」
②	戦時の城から泰平の大野へ 「城・城下町の文化」	<4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群
		<5> 大野城の築城と城下町の形成、その後の発展
③	今も息づく 「祈りと祭りの文化」	<6> 地域に息づく多様な信仰形態
		<7> 受け継がれる芸能
④	自然と共に生きる 「暮らしの文化」	<8> 自然の恵みと暮らし
		<9> 食の営み
⑤	大野に残る 「太古の記憶」	<10> 化石が物語る大地の歴史
		<11> 山と盆地の豊かな自然環境

2 大野市文化財保存活用地域計画 前期計画期間の実績

(1) 実績の総括内容

計画における前期計画期間は令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）になるが、実績の総括については、令和4年度（2022年度）～令和6年度（2024年度）を令和7年度（2025年度）に総括するものとする。

(2) 調査研究・保存・活用の方針とその実績

方針① 系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし

【No.1 「文化財カルテ」の作成】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。

調査研究

[令和4～6年度] 順調

- ・文化財の類型に応じた様式を作成し、仏像・神像調査等各調査で把握した文化財について、令和4～6年度で459件の入力をし、随時入力を進めている。

【No.2 博物館施設における資料の収集・保管】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。

調査研究・保存

[令和4～6年度] 順調

- ・随時、寄贈・寄託の受け入れ(令和4～6年度で18件376点)を行うとともに、収蔵庫・展示室の環境管理、また、収蔵品を活用した企画展の開催等を行っている。

【No.3 郷土資料の購入】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

郷土に関係する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。

調査研究・保存

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・販売目録を随時確認し購入について検討を行っており、検討の結果、購入が必要な資料はなかった。

【No.4 文化財の調査の実施】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

明確になった調査未実施の文化財類型について、所在及び現状を把握するため、第5章で示す「関連文化財群」ごとに調査を実施します。把握調査結果は、詳細調査の要否や優先順位、実施時期や方法についての検討資料とします。

調査研究

[令和4～6年度] 順調

- ・富田地区の「道標地蔵」と通称される石像を調査し、美濃街道との関係性がないことを明確にした。
- ・令和4年度に専門家とともに神社1件の神像等105点を調査し、所見を得た。また、同年より、主に神像仏像を対象とする市内寺社の悉皆調査を開始し、書面調査に回答のあった寺社を中心に、35件の一次(現状把握)調査、専門家による4件の二次(詳細)調査を実施するとともに、調査成果を調査先に報告した。

- ・福井県立恐竜博物館と共同で、中部縦貫自動車道工事で排出された岩石や伊月化石壁の岩石を対象に化石発掘集中調査を10日間実施し、397点の化石を収集した。
- ・東京大学、国立科学博物館等とともに恐竜歯化石の解析調査の成果をまとめ、論文が国際学術雑誌に掲載された。

【No. 5 『奥越史料』の発刊】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

郷土の歴史や自然などについて執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。

調査研究

[令和4～6年度] **順調**

- ・令和5年度に郷土の歴史や自然などについて執筆された論文7本を『奥越史料第37号』として発刊した。

方針② 指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など

【No. 6 文化財の指定や登録】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

文化財の調査によって得られた結果に基づいて、価値の再把握や新たな文化財の指定に取り組みます。

あわせて、国の文化財登録原簿への登録の提案を積極的に行い、ボトムアップによる未指定文化財の保護を推進します。

保存

[令和4～6年度] **順調**

- ・県指定文化財（天然記念物）に「下打波のトチノキ・ケヤキ・イタヤカエデ群生林」、市指定文化財（建造物）に「伝大野城式台前門（喜多山家長屋門）」が指定されたとともに、神仏仏像調査において専門家による二次調査を実施し、対象の32点について文化財の価値を明らかにした。

方針③ 維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備

【No. 7 指定文化財の維持管理】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや補修、清掃などの維持管理を行います。

保存

[令和4～6年度] **概ね順調**

- ・市が所有する国重要文化財である「旧橋本家」について、清掃等の維持管理に加え、屋根西側の差茅修繕や火災設備の適正な修繕などを実施し保存を図っている。また、「佐開遺跡」や市指定史跡「朝倉義景墓」についても清掃等を行い適正に管理している。

【No. 8 指定文化財の保存修復】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

指定文化財の保存修理と保存整備を行います。

保存

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・ 県指定有形文化財（建造物）である「南専寺山門」の修理や国指定天然記念物である「専福寺の大ケヤキ」の樹勢回復について指導や助言を行い、保存修復を進めた。
- ・ 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」のガイダンス施設である「本願清水イトヨの里」の展示改修について、国庫及び県補助を受け工事等を行い、令和5年3月にリニューアルオープンした。

【No.9 市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

明治期に建てられた大野市民俗資料館（市指定）を適正に管理し、一般公開します。

保存・活用

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・ 適正に維持管理を行い、一般公開している。また、多くの人に学び楽しんでいただけるよう、見やすくわかりやすい展示を念頭に展示替えを行ったり、リーフレットを一新し、月ごとに変わる民具カードの配布を開始したりした。

【No.10 指定文化財の保存修理に対する支援】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

指定文化財の修理事業の支援を行います。

保存

[令和4～6年度] 順調

- ・ 県指定有形文化財（建造物）である「南専寺山門」の修理や国指定天然記念物である「専福寺の大ケヤキ」の樹勢回復について指導や助言を行い、保存修復を進めるとともに、国や県とともにその費用を支援することで文化財の保存にかかる所有者の負担を軽減し後押しをした。

【No.11 文化財防火訓練・査察の実施】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練、防火査察を実施します。

保存

[令和4～6年度] 順調

- ・ 市民が所有する文化財について文化財保護審議委員とともに防火査察を行った。（毎年順番で2者が所有する文化財を対象）
- ・ コロナ禍や大雪により中止や実施内容の変更（縮小）がある年はあったものの国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」のガイダンス施設「本願清水イトヨの里」において、消防本部とともに文化財防火訓練を行った。

【No.12 指定文化財の保護パトロールの実施】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

指定文化財の状態の把握と破損の早期発見を目的としたパトロールを実施します。

保存

[令和4～6年度] 順調

- ・指定文化財のパトロールを行い、風雪害等による被害把握に努めた。

【No.13 大野市地域防災計画の推進】 (担当課名：防災防犯課)

各種災害に対する日常的予防や被災時の対応、防災体制づくりなど、市民の生命及び文化財を含む財産を守るための事業実施を推進します。

保存

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・毎年、総合防災訓練を行い（会場は各地区持ち回り）、自主防災組織の動きの確認や、協定先との連携を図った。

方針④ 児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成

【No.18 小学生の郷土芸能の体験】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

小学生を対象に、踊りや里神楽、太鼓など地域に伝わる郷土芸能に親しむ機会を作ります。

活用

[令和4～6年度] 保留・中止

- ・3公民館にて踊りの伝承教室や放課後子ども教室の中での民謡教室などを開催し体験の機会を作ったが、コロナ禍を経て、郷土芸能の担い手の高齢化による指導者不足などの理由により、令和元年度まで開催していた「ふるさと芸能発表会」のような小学生による発表の場については実施できなかった。

【No.19 子ども向け歴史イベントの実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

史跡めぐりや、古文書体験など歴史イベントを実施します。また郷土の歴史調べなどに協力します。

活用

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・「図書館まつり」の一環として、歴史博物館においてくずし字に親しむイベントを開催したり、金森長近生誕500年を記念してパネル探しゲームを行ったりした。

【No.20 文化財の出前授業の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

小・中学生を対象に、学校を訪問して文化財に関する授業を行ったり、実際の文化財を見ながら解説したりします。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に実施に向けた準備を行い、各学校にも呼びかけ、令和5、6年度にかけて、学校訪問や施設見学、校外学習などで延べ26校576人の参加があった。なお、令和4年度においても、小中学校の郷土学習としての博物館施

設見学に対し、学芸員による解説を11校311人に対し行っている。

【No.21 児童生徒による文化財情報の発信活動の実施】 (担当課名：教育総務課)

児童・生徒が地域の自然や文化、歴史、偉人、観光資源などについて学習し地域の課題解決などの内容を企画・提案する学習を行います。また学習成果はCMコンテストに応募して発信を行います。

活用

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・全ての小中学校が総合的な学習の時間等において、地域の魅力や課題をテーマに探求活動を行っている。
- ・令和3年度～7年度において、県の「ふるさとの魅力発信推進事業補助金」を活用し、毎年2～3校ずつ5年間で全14校（3校閉校により現在11校）が「ふるさと大野かがやき隊事業」を実施し、毎年CMコンテストで受賞校が出ている。
- ・「ふるさとの学び特別賞」や「ふるさとの魅力プレゼンテーション大会」の受賞、「ふるさと教育フェスタ」のステージ発表や地域行事などへの参画もあり、ふるさとの学びが深まってきている。

方針⑤ 市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出

【No.14 文化財標柱の設置】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

指定文化財やそのほか城跡や古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。

保存

[令和4～6年度] 順調

- ・毎年1か所の標柱の更新を行った。

【No.22 文化財情報の発信】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

文化財のさまざまな情報を、ホームページやパンフレット、冊子などにまとめ情報発信します。

活用

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・民俗資料館のパンフレット等について、説明を整理し、フリガナを付けたり、わかりやすい内容に更新したりした。
- ・文化財に関する各種審議会や協議会の会議内容について市ホームページで公開するようにした。
- ・博物館企画展、博物館講座、文化財イベントや、文化財を火災から守る「文化財防火デー」や100年フードに認定されている「半夏生さばの食文化」などの文化財情報について、チラシ、市ホームページ、展示、SNSで情報発信した。

- ・「伊月化石壁」の地層が堆積した当時の環境やジュラ紀末期の大野市に広がっていた海の環境を示す復元画を制作し、展示や講座等に活用した。
- ・東アジア初の種類となるジュラ紀アンモナイト「エピストレノセラス」に関するホームページを作成し、本市が貴重な化石の産出地であることを発信した。

【No.23 特別展・企画展の開催】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

歴史博物館において、郷土の歴史や文化財をテーマにした特別展・企画展を開催します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・毎年、特別展・企画展を開催（主なものは下記のとおり）した。
 - 令和4年度…「星」をテーマにした収蔵資料紹介展、平野治右衛門家伝来の甲冑等企画展、本市産出のティラノサウルス類、イグアノドン類の歯化石（「ガ・オーノ」常設展示物）についての期間限定展示
 - 令和5年度…企画展「美しい世界の動物園」、巡回パネル展「自然と人が織りなす風景」、市民所有の文化財展「蓮光寺の寺宝」
 - 令和6年度…企画展「金森長近公のあゆみ」、市民所有の文化財展「金森宗和時代の茶道具」、特別公開「吉原細見」

【No.24 博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出の実施】

(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

博物館の展示資料について解説を充実させるとともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの体験できる展示を行います。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に民俗資料館の展示解説をすべてわかりやすくリニューアルし、和室を「あそぶ」をテーマに、こま回し等の昔の遊びを体験できる部屋にするるとともに、民具（糸車）の体験イベントを実施した。
- ・企画展示や特別公開時に、資料解説を小冊子にまとめて無料配布とした。

【No.25 古文書資料の活用】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

収集した古文書資料を一般に公開し、市民や学校、研究機関などが活用しやすいようにします。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に図書館内で古文書史料及びその解説を展示するとともに、古文書複製資料の一般公開のための準備を進め、令和6年度から一般公開を開始した。

【No.26 文化財の一般公開】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

普段はなかなか見ることができない民間所有の文化財の一般公開を行います。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・令和5、6年度でそれぞれ市民所有の文化財展を開催した。
令和5年度…「蓮光寺の寺宝」
令和6年度…「金森宗和時代の茶道具」

【No.27 SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した情報発信】

(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

文化財の保護活動や公開、イベントなど、文化財に関するさまざまな取り組みをFacebookやスマートフォンのアプリを活用して発信します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・博物館講座のYouTubeライブ配信を行うとともに、市公式LINEやFacebookでイベント情報や文化財に関わる情報を発信した。

方針⑥ 無形民俗文化財の保護の推進

【No.15 「おおの遺産」の認証】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。

保存

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4～6年度で計7件の認証を行った。(現在累計認証数28件)

【No.16 無形民俗文化財の保存育成に対する支援】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

大野市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。

保存・活用

[令和4～6年度] 順調

- ・市内の無形民俗文化財保存担う団体に対して毎年補助金を交付している。(現在は4団体)
- ・市内の無形民俗文化財保存団体による保存・継承のための活動を把握し、補助金以外の支援の是非について検討資料とした。

方針⑦ 観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討

【No.28 越前大野城の維持管理と活用】 (担当課名：観光交流課)

大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4～6年度で順次、各階の改修を完成させ、施設の魅力向上を図るとともに、施設を良好な状態に維持している。
- ・越前大野城の窓口で御城印、御城印帳を販売し、誘客や満足度向上を促進している。(越前おおの観光ビューロー実施)
- ・越前大野城、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、歴史博物館、イトヨの里でスタンプを重ね捺しすることによって1枚の絵になる「重ね捺しスタンプラリー」を実施し、市内文化施設の周遊を図っている。

【No.29 登録有形文化財の観光活用】(担当課名：観光交流課)

平成大野屋本店洋館(国登録)・二階蔵(国登録)・平蔵(国登録)をまちなか観光の拠点として適切に活用します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・施設を良好な状態に維持している。なお、令和6年度から洋館に越前おおの観光ビューローの事務所を移転している。

【No.30 文化財の発信プロモーションの取り組み】(担当課名：産業政策課)

文化財の情報をメディアやPR広告などにより発信する取り組みを行います。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・越前大野城や旧内山家、HOROSSA!などを含めた大野市PR動画の作成やHOROSSA!などのPR広告を行い市内外に情報発信した。
- ・県外メディアを訪問し、越前大野城や七間朝市、くずりゅう化石ラボ「ガ・オーノ」等をPRした。

【No.31 地域資源のブランド化の推進】(担当課名：産業政策課)

これまで築いてきた越前おおのブランドを磨き上げ、各産業分野で稼ぐ力に具現化するため計画を推進します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・越前おおのブランドを活用した商品の開発や販路拡大に向けた市内事業者の事業に補助し、「稼ぐ力」の向上を図った。(令和4～6年度で延べ43事業)
- ・民間事業者により、大野の強みや越前おおのブランドの魅力を生かした事業が実施され、市内外から多くの来場者があり、事業者の「稼ぐ力」の向上に寄与している。

令和4年度…「重機パーク in 越前おおの」、「城下町キャラバン」、「春を彩る越前おおのひな祭り」など

令和5年度…「城下町キャラバン」、「七間ハロウィン」など
令和6年度…「ALL GOOD! MARKET」、「七間楽市・ハロウィン」
など

【No.32 古民家ギャラリーの活用】（担当課名：地域文化課）

小コレクター運動などの絵画の展示と企画展を開催します。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・小コレクター運動により市民が手にした絵画の常設展示のほか、開館5周年を記念した企画展等を行った。また、アートとダンスを融合させたワークショップを開催し市民のアートへの入口としてひらかれた場所づくりにつなげたり、市内小中学校が所蔵する絵画の展示を行い、本市の暮らしに根付く小コレクター運動の普及につなげたりした。

【No.33 公共交通の維持とまちづくりへの活用】（担当課名：交通住宅まちづくり課）

公共交通機関の利便性を向上させるとともに、利用のきっかけとなるイベントを実施することで、利用促進を図ります。

活用

[令和4～6年度] 順調

- ・市内公共交通の利便性向上を図るため、公共交通ネットワークを再構築し、令和6年4月から新たな体系のもとで運行を開始した。併せて、JR 越美北線や広域路線バスを利用したイベントを開催し、公共交通に乗るきっかけを提供するなど、利用促進に取り組んだ。

方針⑧ 文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討

【No.17 生涯学習推進計画の事業の推進】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進めます。

保存

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・公民館講座や放課後子ども教室において、踊りの伝承教室や民謡教室など伝統文化体験の機会を設けた。（例：神子踊り伝承教室、穴馬紙すきチャレンジ、しめ縄飾り作り講座、栃の実伝承教室 等）

(3) 関連文化財群の保存・活用に関する措置とその実績

関連文化財群<1>原始・古代の人々の営み

【No.1 遺跡や出土遺物の調査の実施】(担当課名:生涯学習・文化財保護課)

遺跡の有無を確認するとともに、開発行為の影響が遺跡に及ぶ場合は、発掘調査を実施します。また出土遺物は博物館で活用できるよう調査研究を進めます。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・開発行為に関する埋蔵文化財の有無について随時確認を行った。
- ・大手門広場の整備にあたり、大野城跡の状況を確認するため試掘調査を実施した。
- ・過去の出土遺物の整理を進めた。

【No.2 遺跡調査結果の周知】(担当課名:生涯学習・文化財保護課)

遺跡地図を公開し、埋蔵文化財の場所や時代、遺跡の内容、過去の発掘の有無などを周知します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・遺跡地図を市ホームページに掲載し、公開している。

関連文化財群<2>町や村に暮らす人々の交流

【No.1 市民が民俗芸能に参加できる場所づくり】(担当課名:観光交流課)

おおの城まつりを通して、民俗芸能の継承を兼ねたイベントと踊り教室を実施します。

[令和4～6年度] 順調

- ・越前大野おどり保存会、若手演奏グループ「音人」による小学生や一般対象の練習会を開催している。両団体は、市内外のイベント等にも参加し踊りや演奏を披露し、大野音頭などの継承に努めた。

【No.2 民俗芸能を発表する機会の創出】(担当課名:地域文化課)

大野市総合文化祭の開催などを通して、民俗芸能を発表する機会を設けます。

[令和4～6年度] 順調

- ・市総合文化祭の行事である芸能発表会「錦秋のしらべ」において、郷土芸能の発表を行った。
- ・市が活動補助している文化協会が、「民謡の祭典」を開催し、郷土芸能の発表を行った。

【No.3 城下町のにぎわい創出への支援】(担当課名:産業政策課)

城下町の各通りで行うイベントを支援し、魅力ある商店街づくりを促進するとともに、来訪者数の増加と、回遊性と売上の向上を図ります。

[令和4～6年度] 順調

- ・各商店街が行ったイベントの開催や通りの装飾を補助し支援を行うとともに、「城下町キャラバン」などのイベントに補助することで、まちなかのにぎわい

創出を促進した。

- ・本市地域おこし協力隊員が商店街へ出店し、活動のなかでワークショップや体験事業も実施してまちなかのにぎわい創出を促進した。

【No. 4 歴史の道調査の実施】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

美濃街道をはじめとする、古来から近代まで往来のあった主要なルートについて調査します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・五箇地区と勝原をつなぐ「寺月峠」や富田地区の「道標地藏」と称される石像の調査や乾側地区の古道のルートを検討するための史跡等の情報収集を経て、塚原地区の題目塔が美濃街道通行者を対象として設置したものではないかとの見当を付けた。今後、移設の有無や設置年代、設置者、建替えの有無などについて情報を収集する。

関連文化財群<3>華開く「進取の気象」

【No. 1 国登録有形文化財「旧内山家住宅」の一般公開】(担当課名：観光交流課)

幕末大野藩の藩政改革に尽力した家老の内山良休ゆかりの国登録有形文化財「旧内山家住宅」を一般公開します。

[令和4～6年度] 順調

- ・施設を良好な状態に維持し、フリーwifiの設置などにより、観光客の利便を向上させている。
- ・4、5、9、10月の土・日・祝日に呈茶サービスを実施している。
- ・夏・秋限定で葦を使用した城見窓付きの夏障子、冬限定で桜や荒島岳、大野らしさを感じる動物を配した絵障子を設置し、誘客を図った。また、絵障子にあわせたグッズの販売も開始した。

【No. 2 大野藩に関する資料調査の実施】(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

幕末大野藩が全国に先駆けて取り組んだ洋学について、関連研究機関との交流などにより、全国の蘭学史との比較研究を行います。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・大阪大学適塾センターが発刊する『緒方洪庵全集』の執筆協力および情報提供を行った。
- ・「幕末外国関係文書」(東京大学史料編纂所)から、これまで郷土史では認識されていなかった大野丸と英国船との事故の記録を確認した。
- ・大阪大学適塾記念センター特任研究員の資料調査に協力し、今後の情報交換を活性化させることとした。
- ・大阪大学総合学術博物館の特別展に館蔵の蘭学関係資料を貸出し、資料の分析などを共同して行った。
- ・大阪大学総合学術博物館叢書に、大野藩の蘭学の取り組みについて寄稿した。
- ・あわら市郷土歴史資料館の企画展に館蔵の蘭学関係資料を貸出し、資料の分析

などを共同して行った。

【No. 3 博物館施設における資料の収集・保管（幕末資料）】

（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

歴史博物館において、幕末の藩政改革に関連する資料を収集・保管・展示します。

【令和4～6年度】 順調

- ・藩政資料を中心に、関連資料を展示し解説した。

【No. 4 博物館資料の展示品の解説（藩政改革）】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

歴史博物館の展示資料について解説を行い、幕末期の大野藩の活躍を周知します。

【令和4～6年度】 順調

- ・藩政資料を中心に、関連資料を展示し解説した。

関連文化財群<4>戦乱の時代と大野盆地の城郭群

【No. 1 城郭に関する調査の実施】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

全国の自治体や団体と協力し、近世城郭「大野城」の城郭や築城者・金森長近に関する調査や交流を行います。

【令和4～6年度】 順調

- ・長近公生誕500年を機に、金森長近とゆかりを持つ市（滋賀県守山市・岐阜県高山市・同美濃市）の担当者との交流を深め、自治体連携を深化させるとともに、同市との交流事業として金森長近公をテーマとした講演会を開催した。
- ・高山市において金森長近を顕彰する民間団体と、情報交流を行った。
- ・金森長近とゆかりを持つ市から関係資料の提供を受け、金森長近の人生を紹介するパネル展を開催した。

【No. 2 城館跡の調査の実施】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

大野市内に残る、大野城築城前の山城や館跡、それぞれの縄張り、築城・在城者などについての調査を行います。

【令和4～6年度】 概ね順調

- ・市指定史跡「亥山城址」「小山城跡」および県指定史跡「越前大野城跡」の調査を実施した。

【No. 3 城郭に関する調査結果の周知】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

城跡の調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。

【令和4～6年度】 概ね順調

- ・広く周知できるまでには調査進捗は至っていないが、専門家と共に県指定史跡「越前大野城跡」の調査を実施し進めている。

【No.1 県指定史跡「越前大野城跡」の調査と保存整備】

(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

県指定史跡「越前大野城跡」の石垣と遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については保存整備を行います。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・石垣カルテ作成等の検討を開始した。
- ・令和6年能登半島地震の余震により崩落した石垣について、専門家の現地視察を受け、復元方法や補助金について県と調整を行ったうえ修復した。

【No.2 越前大野城の維持管理と活用】 (担当課名：観光交流課)

大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4～6年度で順次、各階の改修を完成させ、施設の魅力向上を図るとともに、施設を良好な状態に維持している。
- ・越前大野城の窓口で御城印、御城印帳を販売し、誘客や満足度向上を促進している。(越前おおの観光ビューロー実施)
- ・越前大野城、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、歴史博物館、イトヨの里でスタンプを重ね捺しすることによって1枚の絵になる「重ね捺しスタンプラリー」を実施し、市内文化施設の周遊を図っている。
- ・冬季のイベント「越前おおの 冬物語」では、天守から冬の打ち上げ花火を見る取組みを行った。その他、観光ビューロー主催で大野城を活用した夜間開館やナイトイルミネーション等を実施した。

【No.3 越前大野城の情報発信】 (担当課名：観光交流課)

天空の城として知られる越前大野城を観光コンテンツとして活用するため、城の情報や城主とのゆかりの地などを来訪者に情報発信します。

[令和4～6年度] 順調

- ・天空の城展望台までの登山道の管理、ホームページの管理を行っている。

【No.4 歴史文化施設の周遊イベントの開催】

(担当課名：生涯学習・文化財保護課、観光交流課、環境・水循環課、地域文化課)

歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、COCONO アートプレイスなど、大野市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・各年で下記のような事業を実施し、文化施設の周遊促進を図った。

- 令和4年度…
 - ・市内文化施設共通テーマ展「星展」開催（大型水槽を夜空に見立てたディスプレイ（本願清水イトヨの里）、収蔵資料紹介展「星」（歴史博物館）、企画「文化施設で星を見つけよう！」（武家屋敷旧内山家・旧田村家、和泉郷土資料館、笛資料館）、夜間開館とライトアップ（越前大野城））
 - ・市内文化施設を巡るクイズビンゴ（市）スタンプラリー（商工会議所）城ガチャ（観光協会）など
- 令和5年度…
 - ・市内文化施設を巡る、クイズビンゴ（市）スタンプラリー（商工会議所）城ガチャ（観光協会）
 - ・スタンプを重ね押しすることによって1枚の絵になる「重ね押しスタンプラリー」（市）
 - ・市内文化施設共通テーマ展「星展」開催
 - ・博物館講座として市内の文化施設の周遊企画実施
 - ・市内文化施設4館での絵画や市内在住作家の作品展示（COCONOアートプレイス開館5周年記念事業）
- 令和6年度…
 - ・博物館講座として市内の文化施設の周遊企画実施
 - ・スタンプを重ね押しすることによって1枚の絵になる「重ね押しスタンプラリー」（市）
 - ・「明治の種痘接種済証」特別公開（民俗資料館）を、「雪の花-ともに在りて-」公開記念パネル展」（観光交流課）と時期を合わせて開催
 - ・「巨木を語ろう全国フォーラム」の開催に合わせ、市内在住の木工作家の企画展を開催（全国から訪れたフォーラム参加者に施設をアピール）

【No.5 市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」の一般公開】（担当課名：観光交流課）

大野藩の上級武士の邸宅跡である市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」を一般公開します。

[令和4～6年度] 順調

- ・施設を良好な状態に維持し、フリーwifiの設置などにより、観光客の利便を向上させている。
- ・毎年期間限定で屋敷前や庭先などに約2,000個の風車を備えた風車棚を設置し、誘客を図っている。また、風車の入替作業は一般ボランティアの参加を募って行っている。
- ・夏休みの期間限定でヨーヨー遊びができるようにして誘客を図っている。
- ・武家屋敷旧田村家のロケットカード（全国統一観光スポットカード）を作成し配布している。
- ・令和6年度には、映画「雪の花 -ともに在りて-」の公開を記念し、天然痘や大野藩の取り組み、映画の撮影シーンの写真パネルやセットの絵コンテなど

を展示した。また、期間中、映画鑑賞の証明（半券やスマートフォンの画面など）を持参すると、観覧料を半額にするキャンペーンも実施した。

【No.6 まちなか観光施設への誘客】（担当課名：観光交流課）

あらゆる媒体を活用した情報発信を行い、御清水や新堀清水などのまちなか観光施設への誘客を行います。

[令和4～6年度] 順調

- ・御清水をカラフルな提灯でライトアップし、夜間のフォトスポットとしている。（越前おおの観光ビューロー）

【No.7 七間朝市への誘客】（担当課名：産業政策課）

「おおの遺産」である七間朝市の魅力向上を図り、朝市への誘客を行います。

[令和4～6年度] 順調

- ・伝統の「三大朝市物産まつり」や「朝市開き」の実施支援を行うとともに、商店街若手グループである七間大盛会在商店街と朝市の振興のために行う「七間楽市・七間ハロウィン」の開催に対して補助することで、にぎわいの創出を図った。

関連文化財群<6>地域に息づく多様な信仰形態

【No.1 仏像・神像調査の実施】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

大野市内の仏像や神像、信仰の対象となった遺跡や建築物などを対象に調査を行います。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に専門家とともに神社1件の神像等105点を調査し、所見を得た。また、同年より、主に神仏仏像を対象とする市内寺社の悉皆調査（アンケート調査）を開始し、回答のあった寺社を中心に、35件の一次（現状把握）調査、専門家による4件の二次（詳細）調査を実施するとともに、調査成果を調査先に報告した。

【No.2 仏像・神像調査結果の周知】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。

[令和4～6年度] 未到

- ・盗難の懸念があり、現時点では広く公開することは難しいが、調査成果は所有者に共有し、要望に応じて地区住民等を対象とした説明会を実施している。

関連文化財群<7>受け継がれる芸能

【No.1 「おおの遺産」の伝承活動への支援】（担当課名：生涯学習・文化財保護課）

「おおの遺産」認証団体の保存・継承に向けた活動に対して支援します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・「おおの遺産」認証団体へ活動継承についての助言を行った。

- ・同団体への補助についても募集したが、応募がなく、一層の周知を行う必要がある。

【No. 2 「おおの遺産」の情報発信】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

認証を受けた「おおの遺産」をインターネットを活用して広報します。

[令和4～6年度] 順調

- ・「おおの遺産」およびその認証団体の活動について、インターネット上で情報発信を行った。

【No. 3 「おおの遺産」候補の調査の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

結の故郷伝統文化伝承条例に基づく「おおの遺産」の認証候補となる伝統芸能や年中行事、風習・生業など伝統文化について調査を行います。

[令和4～6年度] 順調

- ・候補として13件（景観1件、年中行事12件）の調査を行った。

【No. 4 無形民俗文化財の記録保存】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

大野市内に伝わる踊りや歌、祭礼、神事などを録音・録画したものをアーカイブ化し、公開します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・アーカイブ化について県の担当者と意見交換を行い、仕様作成についての協力を取り付けるとともに、無形民俗文化財保存団体の代表者から意見聴取をし、県の担当者とも共有し、問題点を表出させた。

【No. 5 無形民俗文化財関係団体の交流会の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

無形民俗文化財の保存団体の代表者による、今後の保存・継承に向けた意見交換会を開催します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・令和4年度に開催内容や規模について市外類似団体から内容の聞き取りを行い、準備を進め、令和4年度と6年度は書面にて、令和5年度は意見交換会を開催して保存継承に向けた課題等について意見交換を行った。

関連文化財群<8>自然の恵みと暮らし

【No. 1 国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の維持管理】

(担当課名：生涯学習・文化財保護課)

国指定重要文化財「旧橋本家住宅」を良好な状態で保存します。茅葺き屋根と建物の梁や柱を湿気や虫害などから守るため、年間を通した囲炉裏への火入れや、災害時の対応、一般公開などを行います。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・修繕等含め適切に維持管理をしている。また、令和6年度には屋根西面の差茅

修繕を行っており、その際には、文化財保護への理解向上を目的として見学会も実施した。

【No.2 暮らしに関する資料の展示】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

大野市民俗資料館では、まちや村での暮らしに関する道具などの有形民俗文化財を展示します。

[令和4～6年度] 順調

- ・多くの人に学び楽しんでいただけるよう、見やすくわかりやすい展示を念頭に展示替えを行い、民俗資料を9つのテーマにわけて常時展示している。

【No.3 民俗資料の調査の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

既に無住となった地域の暮らしや習わしについて、聞き取りや文献などでの記録保存を行います。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・民俗資料の寄贈者に協力いただき、使い方やその道具の暮らしとの関わりについて聞き取り、動画・文書で記録保存した。

関連文化財群<9>食の営み

【No.1 食に関連した道具などの展示】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

大野市民俗資料館では、食に関する道具などの有形民俗文化財を展示します。

[令和4～6年度] 順調

- ・「食べる」というテーマの展示室を設け、食に関する道具などを常時展示している。

【No.2 伝統食を体感できるイベントの実施】 (担当課名：農業林業振興課)

地元食材の提供や食文化の普及と継承を行うイベントを実施します。

[令和4～6年度] 順調

- ・毎年、越前おおの食守フェスタを開催し、市内で食育に取り組んでいる団体が、団体の活動紹介や地産地消、食育の啓発をテーマとしたパネルの展示を行った。また、地元の食材を使ったレシピの紹介と共に試食を提供した。

【No.3 伝統食の調査の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

伝統食を対象に、材料や作り方、保存方法などについて調査し、発信します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・100年フードに認定された「半夏生さばの食文化」について、古文書からわかることを整理し、食守フェスタ等で展示を行うとともに、ホームページやSNSで情報発信を行った。また、五箇地区のとちもち作りについて調査した。

【No.4 食文化のブランド化と地域でのふるまい】 (担当課名：農業林業振興課)

食文化のブランド化を図り、観光資源として提供をできる体制を充実させます。

[令和4～6年度] 順調

- ・穴馬スイートコーンおよび穴馬かぶらの出荷本数に対し奨励金を交付した。
- ・里芋について、病害対策のため農薬への補助を行ったり、生産の省力化のため生分解性マルチの導入補助を行ったりした。
- ・特産作物の生産拡大のために、生産・出荷作業の省力化に繋がる機械導入補助を行った。
- ・100年フード「半夏生さばの食文化」をPRするため、半夏生さばの販売店や観光協会、商工会議所などと協力し、チラシやポスター展示、ホームページ、SNS発信した。

関連文化財群<10>化石が語る大地の歴史

【No.1 化石の情報発信拠点の整備】 (担当課名：観光交流課)

化石の調査成果の情報発信を行う拠点として和泉郷土資料館を整備します。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に和泉郷土資料館の壁に恐竜トリックアートを描くとともに、展示室を恐竜や化石に特化したものにリニューアル整備し、施設の愛称募集の結果「くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ」に決定した。
- ・施設を良好な状態に維持している。

【No.2 地層と化石の調査研究】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

地層と化石について、調査研究を進めます。調査に当たっては福井県立恐竜博物館をはじめ関係機関と共同で進めます。

[令和4～6年度] 順調

- ・毎年、福井県立恐竜博物館と共同で、化石発掘集中調査を5日間実施し、化石の収集を行っている。また、大野化石調査隊（化石調査ボランティア）が調査活動に参加し、化石発見に貢献している
- ・下記のとおり調査研究の発表を行った。

令和4年度…・手取層群伊月層から見つかった獣脚類恐竜の歯化石について、ティラノサウルスや現生の鳥類までを含む分類群「テタヌラ類」の化石と特定したことを発表し、本市における恐竜化石研究の重要性を示した。

- ・日本古生物学会第172回例会で、中部縦貫自動車道工事において産出したアンモナイト化石に関する研究発表を行った。

令和5年度…・新種小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」化石の発見について発表した。

- ・日本古生物学会第173回例会で中部縦貫自動車道工事に係る化石調査の成果を発表した。
- 令和6年度…・日本古生物学会2024年年会で九頭竜層群貝皿層より産出した中期ジュラ紀海生二枚貝化石群集について発表を行った。

【No.3 化石発掘体験センターの活用】 (担当課名：観光交流課)

地元で産出した岩石を使った化石の発掘体験ができる施設「化石発掘体験センターHOROSSA!」の活用を図ります。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和4年度に開館5周年を迎え、モニュメントのお披露目、ロケットカードの製作、記念イベントなどを実施し、化石産出地としての魅力アップ、情報発信を行うとともに、施設を良好な状態に維持している。

【No.4 地層と化石の調査成果の発表】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

地層と化石の調査研究成果を企画展や講座などで発表します。また化石や地層の見学会を実施します。

[令和4～6年度] 順調

- ・以下のとおり企画展や講座、観察会等を実施し、調査研究成果等を発表した。
 - 令和4年度…・伊月化石壁で現地解説付きの観察会を2回開催した。
 - ・手取層群伊月層から見つかった「テタヌラ類」の歯化石(「ガ・オーノ」常設展示物)を歴史博物館にて期間限定で展示した。
 - ・東アジア初の種類となるジュラ紀アンモナイト「エピストレノセラス」の研究成果を博物館講座で発表した。
 - 令和5年度…・九頭竜IC開通に合わせて、九頭竜湖周辺で発見されている化石の研究成果を企画展や期間限定展示で発表した。
 - ・中部縦貫自動車道工事に係る化石調査の成果を博物館講座及び日本古生物学会で発表した。
 - 令和6年度…・九頭竜湖周辺で発見されたジュラ紀末期のアンモナイト化石に関する研究成果を企画展で発表した。
 - ・ジュラ紀中期の貝類化石に関する研究成果を日本古生物学会で発表した。

【No.5 地層や化石の保護パトロールの実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

化石の無断採取の防止を目的とした化石保護監視員によるパトロールを実施します。

[令和4～6年度] 順調

- ・化石保護監視員10名によるパトロールを実施している。

【No. 1 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境整備】

(担当課名：環境・水循環課)

国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の整備と学習施設の展示リニューアルを行います。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和5年度までで整備を行い、イトヨの生息環境の整備（堆積していた土砂やへドロ、汚泥等の除去および護岸の補強工事）と学習施設の展示等リニューアル（学習環境の整備、展示の更新、床面の航空写真とイトヨの説明動画の更新、施設の漏水対策）を完了し、施設を良好な状態に維持している。

【No. 2 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの保護活動の実施】

(担当課名：環境・水循環課)

国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の保護活動を小・中学生の協力を得て実施することで、文化財を身近に感じ、保護の必要性を知る機会とします。

[令和4～6年度] 順調

- ・巣作り観察やイトヨの生態講座などのイトヨ観察会を年3回開催し、市内の小中学生に、イトヨの保護と水環境保全の重要性について啓発を行った。
- ・令和5年度に市内中学校の生徒で結成した「イトヨ守り隊」において、大野の水について考えながら、郷土の宝「イトヨ」を保護する活動を続けており、「水資源保全全国自治体連絡会シンポジウム in 越前おおの」(令和6年度開催)や市民講座において活動の発表や展示を行い、その「イトヨの保護を通じた水環境学習」が「土木学会関西支部 第98回総会」にて地域活動賞を受賞した。

【No. 3 本願清水イトヨの里の管理運営】 (担当課名：環境・水循環課)

国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の学習施設である本願清水イトヨの里において資料の展示や企画展を開催します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・下記のとおり企画展等を開催した。
 - 令和4年度…イトヨの里企画展2022「大野のイトヨのこれまで」、記念講演会、水中写真展「本願清水イトヨの世界」
 - 令和5年度…イトヨの里企画展2023「越前おおのの水の中」、市民講座「希少生物の保護と生物多様性」
 - 令和6年度…天然記念物指定90周年記念企画展「ぎょぎょ！天然記念物のおさかな展」、市民講座「生物多様性における外来生物の現状と最新情報」

【No. 4 星空保護区の認定に向けた取り組み】 (担当課名：観光交流課)

星空保護区の認定に向けた取り組みを進めます。

[令和4～6年度] 順調・終了

- ・光害対策のための屋外照明改修工事や認定の申請を進め、令和5年8月21日に星空保護区アーバン・ナイトスカイプレイス部門の認定を受けた。
- ・令和5年10月8、9日には「星空の街・あおぞらの街全国大会 in 大野市」を開催し、大野市の良好な大気環境と光害対策の取組みなどをPRした。

【No.5 日本一の星空情報の発信】 (担当課名：観光交流課)

星空保護区の認定を受け、六呂師高原の日本一の星空を観光資源として活用します。

[令和4～6年度] 順調

- ・令和5年10月8、9日には「星空の街・あおぞらの街全国大会 in 大野市」を開催し、大野市の良好な大気環境と光害対策の取組みなどをPRした。
- ・令和6年度では国際ダークスカイウィークに国内の星空保護区認定地と連携して、六呂師高原の星空の写真や星空保護区認定に向けた取組みについての展示を行った。
- ・MOFネットワークが星空ハンモックに悪天候用の空ドームを導入したり、市内観光バス業者が実施するバスの改修や星空観望ツアーに補助を行ったりした。
- ・国内の星空保護区認定地と連携して出向宣伝を行ったり、PRグッズを製作したりした。
- ・星空を宣伝するための法被やロールスクリーンなどを製作したりした。

【No.6 自然や産地を体感できるイベントの実施】 (担当課名：観光交流課)

和泉地区の自然や文化、農林産物などを体感できるイベントを実施します。

[令和4～6年度] 順調

- ・新緑まつりに替わる事業として、地元事業者等が実施する「九頭竜新緑マルシェ」に補助を行った。
- ・「九頭竜紅葉まつり」を開催した。

【No.7 自然体験できる施設の整備】 (担当課名：観光交流課)

自然を体感できる仏御前の滝・麻那姫湖青少年旅行村などの施設・麻那姫像を維持管理します。

[令和4～6年度] 概ね順調

- ・麻那姫湖青少年旅行村や麻那姫像について、施設を良好な状態に維持している。
- ・仏御前の滝は土砂崩れにより令和4年8月から閉鎖をしていたが、令和6年度に復旧工事を行った。

【No.8 自然災害の記録調査の実施】 (担当課名：生涯学習・文化財保護課)

過去に起きた自然災害に関する記録とそれに関係する言い伝えや備えなどについて調査します。

[令和4～6年度] 順調

- ・江戸時代の大野町での大火にかかる資料や防火に関する行事や史跡などを把握した。